

平成27年度補正

株式会社 IWC

事業計画名

金属フレキシブルチューブ用マルチ成形設備の開発導入

培ってきたノウハウと特殊技術を活かす フレキシブルチューブブランドの設立

～事業の背景～

オンリーワンの新規商品開発に向けて

気体や流体の配管接続部品として幅広く使われている金属フレキシブルチューブは、伸縮性があり地震対策用部品としても注目を浴びている。また使用温度範囲が、-193度～800度と広く、使用制限も他の材料に比べて少ないため、多くの業界で使われている。創業以来、溶接技術の向上と共に下請け業として業界に身を置いてきたが、今後社会に貢献出来る企業となる為には下請け業から脱皮し、メーカーとして業界で一定の場所を確保する必要があると考え、2014年から株式会社IWCとして第二創業をスタートさせた。



～事業の成果～

フレキシブルチューブメーカーの誕生

1台の設備で素管と金属フレキシブルチューブ2種類の加工が出来る、業界初5台の機能を1台で賄う当社オリジナル『マルチ成形機』を開発。小口径と薄肉で柔軟性のある金属フレキシブルチューブとパイプに特化し、他社に負けない高品質なチューブの開発を目指した結果、ガス用配管チューブにおいては2倍の耐久性を実現することができた。

今後は、溶接技術はもちろん、フレキシブルチューブの加工のみでなく、開発設計、部品加工、製品設計、設備開発及び製作までを一貫して事業展開をしていく。



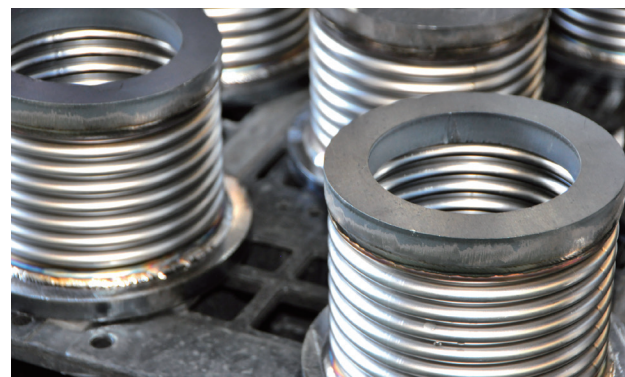
～株式会社IWCの概要～

溶接の特殊技術に特化して業界No.1を目指す

従来からの製品であるフレキシブルチューブ関連商品に加え、薄肉0.05mmの板厚の溶接等、特殊な溶接が必要とされる加工開発と製品の製作を得意としている当社は、製鉄所や発電所、大型設備部材などの重厚長大部品から、医療機器や半導体設備関連などの精密部品の溶接加工まで請け負っている。

また、修理メンテナンスが難しいといわれる溶鉱炉等の設備に対して現場で修理対応を行うなど、長年培った特殊な溶接技術に特化した加工やメンテナンス業にも取り組んでいる。

素材は、鉄、ステンレス、チタン、ハステロイ、モネルなど、多種にわたり対応が可能であり、設計から現場設置までを一貫して請け負っていることで、水素ステーションの溶接から各種プラントの溶接など、エネルギー分野や医療分野、宇宙開発分野と幅広い分野で活動している。一品の小ロット加工部品から量産部品まで「お客様に夢と感動を！」のスローガンの下、要望に応じた物づくりを手掛け、日々技能能力の向上に研鑽し続け、どこにも負けない溶接加工を目指す。



～株式会社IWCの主力製品紹介～

細物チューブに特化したフレキシブルチューブ



熱による膨張や収縮に対応可能なフレキシブルチューブは生活インフラや産業インフラ等で必要不可欠であり、当社では細物に特化して計画から製造、加工までを一貫して製作している。用途にあわせた太さや長さ、素材等を加工し、小ロットから大ロットまで要望にあわせて対応。

<細物フレキシブルチューブの仕様>

長さ	5000mm
経口	8A～65A
板厚	0.1mm～0.4mm
耐熱	-193℃～800℃
素材	アルミニウム、ステンレス、チタン他

株式会社 IWC

業種分類 金属製品製造業

事業内容 金属フレキシブルチューブ及び継手製品の開発・製造・販売
金属溶接全般にわたる加工業務及び溶接加工開発
金属造管及びフレキシブル波付け成形機械の開発・製作・販売

代表者名 代表取締役 藤田 伸恵

所在地 奈良県奈良市北之庄西町2-3-1

連絡先 TEL：0742-63-2733 / FAX：0742-63-2739

ホームページ <http://www.iwc-tec.co.jp/>

E-MAIL n.fujita@iwc-tec.co.jp